



大阪プロバスクラブ

会報 第406号

2025年7月9日発行

Monthly Bulletin of
The Probus Club of Osaka

例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
例会日：2022年7月より毎月第2水曜日 12時～14時
○創立 2001（平成13）年7月9日創立記念式 7月16日
○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
○会長：田中浩三 ○幹事：笠松幸一：080-6141-8371
○事務局：（幹事宅）〒631-0033 奈良市あやめ池南 8-2-35
○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
○【検索】大阪プロバスクラブ会報
○【検索】全日本プロバス協議会
（R6年8月の第11回総会で決定された新体制）
会長 馬場康博、幹事長 中田雅昭、会計 佐々木浩一
○【検索】PROBUS Global→最新ニュースレター6月号

会長挨拶（会員1500人、バーチャルクラブ計画）、カナダ（無料地域ニュースに記事掲載）、プロバスベルギー（2025年4100人を目指す）、カナダオンタリオ州プリンスエドワード郡（ハイブリッド会議が人気）、他

○【検索】日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版：
R7年6月上旬～7年7月初めまでの更新分（順不同）

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報 239号	移動例会（あさひかわ北彩都ガーデンセンター）公演：森は癒しの場（緑の森ガーデン代表佐藤英夫様、料理教室開催、他）、他
東京八王子	プロバスだより 355号	臨時総会、野外研修会「館クリーンセンター見学の記事」（会員・研修委員会泉道夫）、私の健康管理（根本照代、岡本宝蔵、池田ときえ）、俳句同好会便り、他
大阪	会報 第405号	卓話「トランプの関税政策と二大政党制の錯誤」野村正勝様（日本工学アカデミー）、近況報告「鎌ヶ岳・御在所岳周回」笠松幸一会員、他
神戸北	7月例会	7年度総会（役員案、7年度活動計画、予算案他）、【ひとこと】中戸文代、他
北九州	つながり月報 228号	5月卓話「北九州市のインバウンド政策—九州で一番訪れたいまちに」北九州市都市ブランド創造局インバウンド課長小島邦弘氏、他

今回 第407回 通常例会 2025年7月9日（水）
会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

●大阪プロバスの歌（作詞：渡辺孟 補詩：田村徳郎）

- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
- ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
- ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快地生き抜こう

- 『ヤシの実』（作詩：島崎藤村 作曲：田中寅二）
（2012年7月9日発行 会報262号より転記）
名も知らぬ 遠き島より
流れ寄る 椰子の実一つ
故郷（ふるさと）の岸を 離れて
汝（なれ）はそも 波に幾月（いくつき）

前回 第406回 通常例会 2025年6月11日（水）
会場：ホテルモントレ大阪 12：00～14：00

◎通常例会

○司会進行：伊丹谷五郎会員
○ソング：全員 ●『われは海の子』（ソングリーダーが欠席のためYouTubeに合わせて全員で歌った。）
○ゲスト紹介：吉田育代様（浅山会員紹介）、斎藤美恵子様（浅井会員紹介）

●食事タイム 乾杯：西田隆昭会員

ワイン：フュロット・バルベラ・ダスティ プルノット
FIULOT BARBERA D' ASTI PRUNOTTO



ワインラベル ワイナリーの場所（ピエモンテ州）

生産者：プルノット PRUNOTTO

バローロの品質を劇的に向上させた100年以上続く老舗ワイナリープルノットはアルプスの山々に囲まれたイタリア屈指のワイン産地、ピエモンテ州でバローロ、バルバレスコを中心にワイン造りを行う老舗ワイナリー。1923年、第一次世界大戦後、経営の厳しかったランゲ・ワイン協同組合をアルフレッド・プルノット氏が買い取ったことから、プルノットの歴史は始まります。（中略）様々な畑のブドウを混醸することが一般的であった当時のピエモンテにおいて区画ごとのテロワールの違いを理解し、その個性を活かす、ブルゴーニュワインのクリュの概念をバローロに持ち込みました。その概念が活かされ、単一畑のブドウだけでリリースしたバローロ・ブツシアは、バローロの品質を劇的に向上させるきっかけをつくり、世界市場で「ピエモンテのワインと言えばプルノット」と言われるほどの知名度を誇るワイナリーへと成長しました。（中略）現在はイタリア屈指の名門アンティノリがワイナリーを所有し、質の高いワイン造りを守り続けています。

以上

○山下恵司会長挨拶：6月7日から3泊4日で旭川プロバスクラブ20周年記念祝賀会に行ってきました。レンタカーで移動しましたが「ともかく道が真っすぐ」なのが印象的でした。

○川端崇旦幹事報告：旭川プロバスクラブ20周年祝賀会に参加しました。10年前は100人以上の会員でしたが、今回会員は40名弱とのことでした。

○出席報告：委員長より12名（ゲスト2名）との報告
○OH-BOX：委員長より6名14000円との報告

★川端崇旦会員：2023～2025年の幹事を今日で終わりました。皆様のご協力に感謝。

- ★伊丹谷五郎会員：遅れて申し訳ないです。口笛世界大会チャンピオンを是非紹介したいです。私の大学の後輩です。よろしく！
- ★田中浩三会員：梅雨の時節、体調に気をつけられて健康に元気にお過ごしください。
- ★浅井祐介会員：本日お客様2名（吉田様、斎藤様）有意義な時間を！本日はありがとうございます。
- ★浅山紀久子会員：うとうとしい雨の中、吉田様、斎藤様ようこそおいでくださいました。楽しい時間にしてください。次回もお待ち致しています。
- ★野村尚子会員：吉田様、斎藤様ようこそ参加頂きました。どうか楽しんで下さい。

以上

◎卓話「清和源氏のふるさと、川西」西宮富夫会員
（最近、中国道を走っていた時、高速道路上の横断幕にこのフレーズを目にしました。気になったので調べてみました。以下、文の基本的な事項と画像はすべてWikipedia（清和源氏、摂津源氏、多田神社、平将門、源頼朝、足利尊氏など）より引用しました。）

★清和天皇の子孫が臣籍降下し源姓を賜る

858年56代清和天皇（850～881）の第6王子の嫡男（皇族名）^{つねもと}経基王（917～961）が軍事貴族に活路を見出し臣籍降下。皇族は姓がないが臣下には姓が必要なので、源姓を賜り、源経基を名乗り武士団を形成した。

★満仲が多田で武士団

^{つねもと}経基嫡男の満仲は藤原摂関家に協力し朝廷で地位を築き、多田荘を賜る。現在の多田に多田院を建立（970）し、武士団を形成、内裏守護、天皇警護を職とした。彼の子の頼光（摂津源氏の祖）、頼親（大和源氏の祖）、頼信（河内源氏の祖）らも藤原摂関家に仕えて勢力を拡大した。多田院にはのちに多田神社が建てられた。



★関東で河内源氏が勢力を拡大

^{つねもと}経基は938年武蔵介となった。経基は地元の豪族と衝突を起こし、武蔵の国には平将門が勢力を持っていた、このもめ事を治めに来た。経基は京へ帰還した。



平将門

その後、1030年の平家の乱の鎮圧に、朝廷から正規軍として経基の孫、頼信（河内源氏の祖）が派遣された。この平家鎮圧に成功し、武蔵国の武士団と繋がりが強まった。（平氏は桓武天皇を祖とし、臣籍降下した一族。）

（以下、歴史人物家系図・清和源氏より引用）源氏の中でも武士の源氏といった場合、この河内源氏を指します。源頼朝・足利尊氏・新田義貞・木曾義仲・武田信玄らはすべて河内源氏の流れをくみます。河内源氏は関東に勢力を置き、広く発展しました。傍流として石川源氏・常陸源氏・甲斐源氏・信濃源氏があり、この他庶流として足利氏・新田氏がいます。

★源平合戦（1180年～1185年）（以下再びWikipedia）

1180年平家政権での皇位継承の不満から以仁王が反乱を起こす。これを同調した河内源氏の頼朝、義経ら兄弟、木曾義仲、甲斐源氏、近江源氏、下野源氏、摂津源氏、美濃源氏、大和源氏の諸侯が各地で挙兵し、いわゆる源平合戦が始まった。

当初は平家が源氏を圧倒していたが、源義仲に平家は京都から追われた。その後義仲軍、平家、頼朝軍が三つ巴の戦いとなったが、1184年義仲軍を、1185年壇ノ浦の戦いで平家を滅ぼし頼朝が勝利した。（頼朝は河内源氏）



源頼朝

★鎌倉時代（1192～1337年）

平家の追討に成功した頼朝は義経他多く源氏一族（常陸源氏、上野源氏、甲斐源氏、多田源氏、奥州藤原氏、義経など）を滅亡や衰退させ、1192年武士の棟梁（征夷大將軍）となる。ここに鎌倉幕府が成立する。

なお、多田（摂津）源氏の嫡流が義経軍で戦い戦功を挙げたが、頼朝に疎まれ多田荘を没収された。なお、満仲が建てた多田院は鎌倉幕府の守護職や北条家の地頭職に支配された。従来からの多田源氏の武士団は御家人として安堵された。

★室町時代（1338年～）（Wikipediaより引用）

1333年、後醍醐天皇が鎌倉幕府討伐の挙兵した際、足利尊氏はその鎮圧のため幕府軍を率いて上洛したが、丹波国篠村八幡宮で幕府への反乱を宣言、六波羅探題を滅ぼした。幕府滅亡の勲功第一とされた。

後醍醐天皇の新体制である建武の新政下で、（中略）鎌倉方の残党北条時行が起こした中先代の乱により窮地に陥った弟・足利直義救援のため東下し、乱を鎮圧したあとも鎌倉に留まり、恩賞を独自に配布した。

これを独自の武家政権を樹立する構えと解釈した天皇との関係が悪化、建武の乱が勃発した。（中略）一時は九州に都落ちしたものの、光厳上皇が尊氏に対し新田義貞追討の院宣を発給し、再び太宰府天満宮を拠点に上洛して京都を制圧。光明天皇踐祚を支援し、光明天皇から征夷大將軍に補任され新たな武家政権（室町幕府）を開いた。一度は京に降った後醍醐天皇は、すぐ後、吉野に脱出し南朝を創始することになった。

足利尊氏（1305～1358）が1338年征夷大將軍（武家の棟梁）となったが、同じころ後醍醐天皇は崩御している。なお、足利尊氏は多田神社を再建し、神社に分骨した。その後の足利將軍も多田神社に分骨している。また戦国時代1557年に焼失したが、江戸時代1667年に再建された。（足利尊氏は河内源氏）



足利尊氏

★主な清和源氏

平安時代 794年～1185年	858年即位「清和天皇」の第6王子貞純親王の子経基は源姓を賜り臣籍降下、938年武蔵介、 912年生 満仲（経基嫡男） 多田院を建立、 948年生 頼光（嫡男） 摂津源氏の祖、 968年生 頼信（3男） 河内源氏の祖
鎌倉時代 1185年～1333年	源頼朝（河内源氏） 木曾義仲（河内源氏） 源義経（河内源氏）
室町時代 南北朝時代： 1333年～1392年 戦国時代： 1467年～1573年 安土桃山時代： 1573年～1603年	足利尊氏（河内源氏） 新田義貞（河内源氏） 武田信玄（甲斐源氏） 今川義元（河内源氏） 明智光秀（河内源氏）
江戸時代 1603年～1868年	徳川家康
明治時代 1868年～1912年	夏目漱石（満仲弟が祖先）

（歴史年表区分は Good Luck Trip より抜粋）

◎旭川 20 周年記念祝賀会参加旅行報告

（会報担当：旭川プロバスクラブからの20周年記念祝賀会のご案内に当クラブから4名が参加し、観光旅行も合わせて田中旅行幹事他から写真の報告がありました。以下写真中心に旅行報告をまとめました。）

<札幌>

★YOSAKOI ソーラン祭り（以下、文はWikipediaより）

北海道大学の学生だった長谷川岳（現・参議院議員）が（中略）1991年12月、学生仲間を募り5名で「YOSAKOI ソーラン祭り実行委員会」を発足させ、高知県の「よさこい祭り」と北海道の「ソーラン節」を融合させた

「YOSAKOI ソーラン祭り」として企画・立案し、誕生したものである。

1992年6月に（中略）道内16大学の実行委員会150名で第1回YOSAKOI ソーラン祭りを開催。（中略）1998年には祭りの大規模化に伴い運営主体はYOSAKOI ソーラン祭り組織委員会に移行したが、メインステージである大通西8丁目会場、飛び入り参加型ステージのワオドリスクエアおよび大通公園のパレード広場については現在も企画・運営が北海道大学はじめ道内の大学生による学生実行委員会によって行われている。



（YOSAKOI ソーラン祭りに遭遇）

★札幌時計台（以下、文はWikipediaより）

札幌市時計台は歴史的建造物である。重要文化財（1970年6月17日指定）。正式名称を「旧札幌農学校演武場」と称する。現在の通称は「札幌時計台」、もしくは「時計台」と呼ばれ、多くの観光客が訪れる名所になった。



札幌時計台

<富良野>

★ファーム富田（以下文はWikipediaより引用）



以上

・富田忠雄は1953年、当時富良野一帯においてラベンダー栽培の先駆の人物であった上田美一のラベンダー畑に出会い、1958年より香料用としてのラベンダー栽培を開始。妻と共に開始した畑は10アールの広さにまで及んだ。その後ラベンダー畑はおおよそ1.2ヘクタールにまで拡大、富良野地方全体でもラベンダーの栽培地域が230ヘクタール以上に拡大したが、以降は急激に衰退。(中略)

・1973年には近隣一帯のラベンダー栽培農家がほぼファーム富田のみとなってしまった。1990年に「ラベンダー芳香フェア」がフランスにて開催され、(中略)ファーム富田のオリジナルエッセンシャルオイル、「おかむらさき」が第1位を獲得。同時に「オートプロヴァンス・ラベンダー修道騎士」の称号を授与された。この称号は南フランスにあるラベンダーを生産する組織より、ラベンダー栽培における功労者へ贈与されるものである。

・その後は冬期間にグリーンハウス内でのラベンダー栽培に成功、富田ラベンダー資料館や「ドライフラワーの舎」をオープンさせるなど事業を拡大し、現在に至る。

★風のガーデン (以下文はWikipediaより引用)



・富良野を舞台にしたテレビドラマ「風のガーデン」のロケのため、2年がかりで造られた広大なブリティッシュガーデンです。2,000㎡もの庭は現在もきれいに整備され、春から秋まで、季節ごとに咲き誇る美しい花々が訪れる人を楽しませています。

<旭川>

★旭川プロバスクラブ今年度最終例会

点鐘→国歌斉唱→旭川プロバス賛歌→会長挨拶→物故会員へ黙祷→感謝状贈呈

★創立20周年記念祝賀会

記念事業目録贈呈→来賓紹介→旭川副市長様祝辞→旭川商工会議所副会頭様祝杯→歓談→お祝いのスピーチ(全日本、大阪他)→万歳三唱



★ケンとメリーの木 (美瑛町) (以下、文はWikipedia)



・ケンとメリーの木は美瑛の丘陵地帯に立つ1本の大きなポプラの木である。1972年から1977年まで発売された「ケンとメリーのスカイライン」こと日産・4代目スカイラインのCM第15作「地図のない旅」編(1976年9月制作)のロケーション撮影で使われた。また、BUZZによるCMソング「ケンとメリー～愛と風のように～」がオリコンチャート最高位19位になるなどブームとなった。CM放送後、この木は観光名所となり演者の役名より「ケンとメリーの木」と名付けられた。

・この木は、私有地内にあり、撮影スポットには、名称の由来などの説明や老木ゆえ大事にしてほしい旨が書かれた看板がある。

★あさひやま動物園 (以下文はWikipediaより引用)



・旭山動物園は日本の動物園で一般的な、動物の姿形を見せることに主眼を置いた「形態展示」ではなく、行動や生活を見せる「行動展示」を導入したことで注目を集めた。

・ペンギンのプールに水中トンネルを設ける、ライオンやトラが自然に近い環境の中を自由に動き回れるようにするなど、動物たちが動き、泳ぎ、飛ぶ姿を間近で見られる施設造りを行っている。

・冬のペンギンの運動不足解消から始められた雪の上の散歩は人気イベントで、積雪時に限り毎日開催される。

・このほか、食事時間をもぐもぐタイムと称し、動物の行動を展示する催しも行われている。

以上

次回 408 回ビアパーティ 2025年8月20日(水)
会場: ホテルモントレ大阪 16:00~19:00